

2021 展覧会 & イベントスケジュール

3 月 13 日 (月) ~ 4 月 13 日 (火)

「噴煙のなかの軽井沢」展

東日本大震災 (2011.3.11) から 10 年を迎えるのを機に、浅間山の噴火活動に関連する文学にあらわれた噴火・噴煙を描写した作品を集め、肉筆資料、著作、初出紙誌など文学関連資料約 200 点で紹介いたします。全国文学館協議会・第 9 回共同展示 (「3.11 文学館からのメッセージ」) に 9 年連続で参加するもの。

4/14,15,16 休館

4 月 17 日 (土) ~ 7 月 12 日 (月)

「ことばの万華鏡—軽井沢を愛した文学者・芸術家たちスペシャル—」展

明治以降に軽井沢を訪れ、創作活動を行った文学者・芸術家約 50 人の作品を、自筆資料、著作、初出紙誌、絵画など約 200 点で紹介いたします。軽井沢を舞台にした詩・小説・戯曲・俳句・短歌・随筆などから、私たちの心に響く“ことば”を集め、一堂にご紹介します。なお、会期中の 6/1 ~ 6/30 まで、軽井沢絵本の森美術館との共同事業として、会場の一部で「軽井沢 × 文豪とアルケミスト」を行います。堀辰雄キャラクターパネル等を設置し、堀辰雄コーナーを設けます。

7/13,14,15,16 休館

7 月 17 日 (土) ~ 10 月 11 日 (月)

夏季特別展「あさまのふもとの子どもの文学—衿子、桃子、俊太郎、、、—」(仮題)

本年は、浅間山麓・六里ヶ原を愛した詩人・童話作家の岸田衿子の没後 10 年を迎えます。これを機に、浅間山麓に山荘を構え、子どものための仕事を残した文学者たちをご紹介します。1 年の大半を北軽井沢大学村で暮らし、詩や童話、絵本など、子どもの文学を生み続けた岸田衿子、信濃追分で長く夏を過ごした石井桃子 (『ピーター・ラビット』訳者)、北軽井沢で子供時代から夏を過ごし、子どものための詩や絵本を多く手がける谷川俊太郎のほか、野上弥生子 (エリナー・ポーター『美しき世界』訳者)、恩地三保子 (ローラ・インガルス・ワイルダー『大草原の小さな家』訳者)、佐野洋子 (『100 万回生きたねこ』などの絵本作者) らを紹介いたします。

10/12,13,14 休館

10 月 15 日 (金) ~ 11 月 30 日 (火)

「文学のふるさと・軽井沢—避暑地 135 年ものがたり—」(仮題)

明治末期から今日に至るまでの軽井沢ゆかりの文学者約 70 人余の、軽井沢を舞台に描いた詩・小説・随筆・戯曲・俳句・短歌などを、著作、原稿、書簡、初出紙誌、写真、絵画、遺品等の館収蔵資料約 200 点で紹介いたします。軽井沢の豊穡な文学の歩みを一望できます。

12/1- 休館

< イベント >

- 朗読会 朗読劇「幽霊—或る幼年と青春の物語—」@睡鳩荘 7/24 (土) 13 時・17 時、25 (日) 13 時 計 3 回
会場：旧朝吹山荘「睡鳩荘」 出演：山本芳樹、坂本岳大、岩崎大、矢代朝子 (以上、軽井沢演劇部)
- 文学散歩 ①新緑の旧軽井沢を歩く 5/22 (土) 13 時、②追分文学散歩道を歩く 9/11 (土) 13 時、
③晩秋の信濃追分を歩く 10/23 (土) 13 時
- 辻邦生山荘見学会 ①6/5 (土) 13 時、②9/4 (土) 13 時、③10/2 (土) 13 時
- 軽井沢再発見講座 9/25 (土) 13 時 「あさまのふもとの子どもの文学 (仮題)」 講師：大藤敏行 (軽井沢高原文庫)
- ※ 展覧会およびイベントのスケジュールは、コロナウイルス感染防止のため、変更または中止される場合があります。
お出かけ前にホームページまたはお電話でお確かめください。